

クールジャパン戦略のこれまでの動き

平成26年10月

内閣官房 知的財産戦略推進事務局

クールジャパン戦略に係る取組(クールジャパン戦略担当大臣設置以降)

クールジャパン推進会議

[H25. 3~5 : 4回実施]

クールジャパン推進会議

クールジャパン戦略の推進及び発信についての検討を目的に開催

[H25. 5. 28]

基本的考え方

クールジャパンとは、国民参加型の社会的な運動であると提示

アクションプラン

発信力強化のための19の具体的方策を提示

[H25. 4 : 2回実施]

ポップカルチャー分科会

若者の視点から提言してもらうことを目的としてクールジャパン推進会議の下に設置

CJムーブメント推進会議

[H26. 4~8 : 5回実施]

CJムーブメント 推進会議

[第2期クールジャパン
推進会議]

「クールジャパンをデザインする」を副題として開催

[H26. 8. 26]

ミッション宣言

「世界の課題をクリエイティブに解決する日本」をミッションとして提示

クールジャパン提言

ミッション達成のための32の具体的アクションを提示

会議メンバー

クールジャパン推進会議（民間議員：7名）

- 秋元 康 作詞家、プロデューサー
- 角川 歴彦 （株）角川グループホールディングス取締役会長
- 金 美齢 評論家、学校法人JET日本語学校理事長
- コシノ ジュンコ デザイナー
- 佐竹 力総 （一社）日本フードサービス協会理事
- 千 宗室 茶道裏千家家元
- 依田 巽 ギャガ(株)代表取締役会長兼社長CEO

ポップカルチャー分科会（構成員：4名）

- 中村 伊知哉 慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授
- 河瀬 直美 映画作家
- 樹林 伸 漫画原作者
- 齋藤 茂 （株）トーセ代表取締役社長

CJムーブメント推進会議（コアメンバー：9名）

- 太刀川 英輔 NOSIGNER株式会社代表取締役（コンセプト・ディレクター）
- 篠原 ともえ タレント
- 葉加瀬 太郎 ヴァイオリニスト
- 古市 憲寿 東京大学大学院総合文化研究科博士課程
- 青島 美奈子 日本政府観光局 海外マーケティング部 欧米豪グループアシスタントマネージャー
- 各務 亮 （株）電通 チーム・クールジャパンメンバー
- 杉山 玲子 （独）日本貿易振興機構 総務部 広報課長
- 藤原 牧季 （株）海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）投資戦略グループ ヴァイスプレジデント
- 吉岡 憲彦 （独）国際交流基金 アジアセンター 文化事業チーム長補佐

「アクションプラン」の概要(平成25年5月)

(1) 「トータルコーディネート」、「一緒に」

- ① 食(スイーツを含む)、ものづくり、コンテンツ等の幅広い分野の連携による発信
- ② 伝統文化やポップカルチャーとの融合を含めた日本発の芸術作品の海外発信
- ③ 平成24年度補正予算を活用した発信及び(株)海外需要開拓支援機構の有効活用により、インバウンドの推進につなげるサイクルの実現
- ④ 食や観光等の情報を放送やネットを通じて海外に発信する取組などの支援
- ⑤ 外国人に対し、日本産酒類の魅力を日本食と併せて発信

(2) 「きっかけ」

- ⑥ 魅力的なロゴの作成など、「クールジャパン」を知るきっかけの発信
- ⑦ 総理大臣、クールジャパン戦略担当大臣などによる発信

(3) 「みんなで」

- ⑧ 政府が一丸となって、「クールジャパン」の推進へ国民の広範な参加を促す
- ⑨ 人気投票によるポップカルチャーキャラクターの発信

- ⑩ 文化交流などにより、外国人の目から見た我が国の魅力を認識できるようにする

(4) 「愛され方」

- ⑪ 「クールジャパン」と「ビジットジャパン」の効果的な連携。
- ⑫ 海外での日本文化の好感度を高め、外国人の手による「クールジャパン」再発信につなげる

(5) 「ストーリー」

- ⑬ 「日本遺産(仮称)」の創設等の文化財の活用

(6) 「育てる」

- ⑭ ポップカルチャーの海外市場形成のための人材育成、日本文化ファンの日本招聘
- ⑮ 「クールジャパン」発信イベント等の支援、イベント参加に対する支援
- ⑯ 食の伝道師を育成し、日本食・食文化の普及・啓発
- ⑰ 日本文化・産品を集めた発信又はその支援
- ⑱ クリエーターが励みとなるような顕彰事業の充実
- ⑲ 海外研修、海外での交流、国際共同制作を通じた人材育成支援

「クールジャパン提言」の概要（平成26年8月）

クールジャパンのミッション

「世界の課題をクリエイティブに解決する日本」

ミッション実現のための3つのステップ（アクション）

第1ステップ:「国内の成長を促す」



A. コミュニケーション能力の獲得

1. クールジャパン授業の実施
2. クールジャパン留学制度の充実
3. コンテンツの英語副音声同時放送の促進
4. 英語特区の創設

B. 障壁を取り除き、挑戦への気運の向上

1. 若者の積極登用や世代間継承の促進
2. クールジャパンへの意見の受け皿の創設
3. 規制緩和でクリエイティブを応援
4. クールジャパン知財相談センターの設立

C. 自由な挑戦や協働の応援

1. 省庁間連携新事業に挑戦
2. 省庁間の連携プラットフォームの推進
3. 企業内アントレプレナー支援
4. 課題に挑戦する100の新事業の応援

第2ステップ:「国内と海外を繋ぐ」



D. 日本のパブリック・イメージ形成

1. 日本のブランドイメージの確立
2. 新しいコミュニケーションワードの作成
3. 「Designed in Japan」表示の普及
4. 調達の見直し

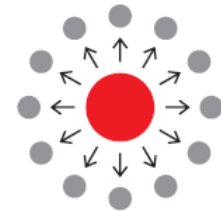
E. 日本のコンテンツ等の流動性向上

1. インバウンドポータルサイトの作成
2. 観光地サインの多言語化
3. 日本語コンテンツの翻訳支援

F. 海外の視点の取り入れ

1. 海外の視点を持ったパートナー100名指名
2. 世界で活躍する日本人のアンバサダー任命
3. 海外からの日本の見え方・期待の可視化
4. 外国人観光客のニーズ分析

第3ステップ:「世界に役立つ日本へ」



G. 日本と世界の課題の自分ゴト化

1. 日本と世界の課題情報の可視化
2. 行政オープンデータの発信

H. 世界に貢献できる産業の推進

1. 課題解決産業とクリエイティブのマッチング
2. 世界に貢献するアイデアの事業化が起る環境整備
3. 課題解決ビジネスの海外展開の促進

I. 日本古来の哲学の発信共有

1. JAPAN LABOの創設
2. クラフトの国際祭典の日本開催
3. ジャパンデザインミュージアムの創設
4. 日本の情操教育の世界への普及